



新座中だより

学校教育目標

強く 明るく 考える

令和4年度6月号



〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号

電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131

新座市立新座中学校

雨の日、晴れの日

校長 高橋 利明

梅雨の季節を迎え、アジサイのつぼみが膨らみ、色づき始めました。自然の植物がたくましく伸びゆく様は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。

草や木の生長にとって、なくてはならないのが、雨の日であり、晴れた日です。どちらも、ちょうどよいバランスが繰り返されるので、幹や枝は大きくなり、葉は勢いよく生い茂ります。

もし、雨ばかり降っていれば、植物は根が腐って育ちません。逆に、晴れの日ばかりでも、水分がなくなって枯れてしまいます。

このように、植物の生長には反対のもの同士が必要です。生徒たちの心の成長にも、雨と晴れのようにまったく反対のものがが必要です。そして、それらは「やさしさ」と「厳しさ」です。

生徒たちは、「やさしさ」だけでは甘えが出たり、わがままが出たりして、よい心は育ちません。

また逆に、「きびしさ」だけでも気持ちがすさんだり、いじけたり、イライラしたりして、よい心は育ちません。

生徒たちは、一日の中で何回か注意されたり、褒められたりする機会があると思います。その時に、きびしく注意したり、優しく褒めてあげたりすることが一番必要です。

きびしく叱ったり、指摘したりした後でも、なぜ注意されたのか気付くようになれば、褒めてあげることも大切です。

生徒たちは、時々過ちを犯すこともあるかもしれませんが、その時に、きびしく注意されたり、優しく褒められたりすることによって、的確な判断ができる人に成長していきます。

このようなことを繰り返し経験することにより、社会の一員として、自覚を持った人間に成長していくのだと思います。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」